

## <一般会計>

# 5 政策経営部・その他

1	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます	124
	防災意識の普及・啓発	125
2	区民の参画・協働と開かれた区政を実現します	126
	広報千代田	127
	パブリシティ活動	127
3	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進 します	128
	文書管理業務	130
	公金収納代行等手数料	130
	情報セキュリティ対策の推進	131
	デジタル化の推進に向けた調査検討	132
	キャッシュレスの推進	132
	職場環境改善・事務効率化の推進	132
	デジタルデバイド対策	132
	総合計画の策定※	133

※「総合計画の策定」は、「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための事業ではありませんが、掲載の都合上、施策の目標37に関連する事業の後に掲載しています。

# 1

## みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます

【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 5】 [56 ページの再掲]

区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

### 「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 防災意識が高く、災害時要援護者を含めた地域の協働態勢が構築できている。
- 地域の連携と協力により、災害時における都市の安全性が高い地区が実現できている。
- 災害時の救護態勢の強化など、適切に対処できる危機管理意識の高い態勢が構築できている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業 (掲載ページ)				
防災・減災対策の推進/災害に強いまちづくり				
防災意識の普及・啓発 (P125)	拡充	11,843	25,445	△ 13,602
防災・減災対策の推進				
福祉避難所の防災訓練 (P57)	拡充	3,993	2,310	1,683
個別避難計画の作成 (P57)	新規	8,135	0	8,135
その他				
建物の耐震化等促進事業 (P111)	拡充	505,248	284,279	220,969

## 防災意識の普及・啓発

11,843千円 ( 25,445 千円)

### 拡充

#### ▶災害対策・危機管理課

地域防災リーダーを育成するため、地域の防災活動に携わっている方を対象に、防災士の資格取得に係る費用の一部を助成しています。

令和4年度は、発災時における避難所の運営体制強化を目的として、防災に関する一定程度の知識や技術を修得した方を確保するため、区内に住所を有し避難所運営協議会委員長の推薦を受けた方を対象に、防災士資格取得に係る費用を全額助成し、地域の防災力向上を支援します。

## 2

### 区民の参画・協働と開かれた区政を実現します

【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 36】

区民等の積極的・主体的な参画と協働を推進するとともに、必要な区政情報を効果的に提供していきます。

#### 「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 区民の区政への参画が広がっている。
- 区と活動主体の協働が広がり、地域のニーズに的確に対応している。
- 区民が知りたいと思う区政情報が、いつでも手軽に入手できている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業 (掲載ページ)				
区民参画の機会の提供				
モニター運営		695	695	0
世論調査		3,000	3,000	0
多様な手段による区政情報の発信				
広報千代田 (P127)	拡充	73,637	63,906	9,731
パブリシティ活動 (P127)	拡充	6,079	1,857	4,222

## 広報千代田

73,637千円 ( 63,906 千円)

拡充

▶広報広聴課

新型コロナウイルス感染症や災害等の情報は、区民の命や安全に関わる情報であり、区民へ確実に届ける必要があります。

一方、区が月2回発行している広報紙「広報千代田」について、現在は主に新聞折込により配布を行っていますが、電子化などにより個別世帯に配達される新聞が減少し、広報紙の閲読率が低下していることが課題となっています。

令和4年度は、全ての区民に確実に区政情報を届けるため、主な配布方法を新聞折込から全戸配布（ポスティング）へ変更します。

## パブリシティ活動

6,079千円 ( 1,857 千円)

拡充

▶広報広聴課

区民をはじめとした多くの方に魅力ある千代田区をお知らせし、区政に対して関心を持ってもらうためには、新聞やテレビなどの報道機関を活用した区内外への幅広い情報発信が重要です。

令和4年度は、より多くの方に千代田区への関心を持ってもらうため、官民で連携した情報発信やプレスツアーなど、従来の広報からさらに企画を加えた「戦略広報」を実施し、情報発信の強化に取り組みます。

あわせて、区の情報発信によって取り上げられた、媒体・内容・伝達人数等を集計し、事業に関する伝達状況や報道後の反応を分析することで、広報の対象となった事業の改善につなげていきます。

### 3

## 質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します

【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 37】

多様なニーズを持つ区民に対し、区民の目線に立った質の高い行政サービスを提供するため、限られた財源や職員を最大限に活用していきます。

### 「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 行政評価の実施により区政の透明性が向上し、区民との信頼関係が構築されるとともに、PDCAサイクル\*が確立され、効果的・効率的な区政運営が行われている。
- 機動力のある執行体制のもと、高い倫理観・使命感を持ち、区民の目線に立って自ら考え行動できる職員が育つことにより、質の高い行政サービスが迅速に提供されている。
- ユニバーサルデザインの考え方に基づく取組みが進み、ハード（施設整備等）・ソフト（サービス提供等）の両面において区民満足度が向上している。
- 税や保険料の収納率向上、使用料等の受益者負担の適正化が進み、健全な財政運営や区民負担の公平性の確保が図られている。
- 公共サービスが、最適な実施主体により運営されることで、コストの削減や効率性の向上などの効果が表れるとともに、区民サービスが向上している。
- ICTが活用され、区民の利便性が向上するとともに、事務の効率化が図られている。

※ PDCAサイクルとは、施策や事務事業の企画・立案、実施、評価、見直し（Plan-Do-Check-Action）のサイクルを継続して行うことにより、施策や事務事業を見直し、その結果を実施方法の改善や予算へ反映させる手法をいいます。

（単位：千円）

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）					
計画的な人材育成					
職員研修			22,302	24,759	△ 2,457
職員提案の実施					
企画財政一般事務費 ※職員提案の実施分のみ			90	101	△ 11

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）				
ICTの活用等による事務の効率化				
文書管理業務（P130）	拡充	52,349	19,776	32,573
公金収納代行等手数料（P130）	拡充	28,544	8,242	20,302
情報セキュリティ対策の推進（P131）	拡充	22,240	10,000	12,240
デジタル化の推進に向けた調査検討（P132）	拡充	134,095	127,015	7,080
キャッシュレスの推進（P132）	新規	12,536	0	12,536
職場環境改善・事務効率化の推進（P132）	新規	64,922	0	64,922
デジタルデバイド対策（P132）	新規	11,000	0	11,000
その他				
（仮称）四番町公共施設整備（再掲）（P39）		810,864	133,596	677,268

※P133に掲載している「総合計画の策定」は、「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための事業ではありませんが、掲載の都合上、施策の目標37に関連する事業の後に掲載しています。

文書管理業務

52,349千円 ( 19,776 千円)

拡充

▶総務課

適正な公文書管理は、事務の適正かつ能率的な遂行にとって重要であり、また、区における公文書の公開等の円滑な制度運用につながります。

令和4年度は、適正な公文書管理の一環として、業務の効率化及び公文書の円滑な利活用を図るため、公文書の電子化に取り組みます。

公金収納代行等手数料

28,544千円<sup>※1</sup> ( 8,242 千円)

拡充

▶会計室<sup>※2</sup>

※1 のほか、国民健康保険事業会計に 5,359 千円を計上しています。

※2 当該事業で扱う各公金は、税務課、保険年金課、高齢介護課、子ども支援課で所管しています。

1 公金収納支援サービスの導入

区は、区民税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育園・こども園保育料等について、口座振替による収納を行っています。口座振替の登録は、区民が口座振替依頼書に必要事項を記載し、金融機関又は区に提出することで行いますが、実際に口座振替が開始されるまでには、1～2か月の期間を要しています。

令和4年度は、24時間365日Web上で口座振替登録ができる公金収納支援サービスを導入し、区民がスマートフォンなどでいつでも口座振替の申込みをすることができるよう利便性の向上を進めます。加えて、銀行への口座照会がWeb上で完結することから、口座振替の登録が即時に完了し、区民が希望する月から口座振替を開始することも可能になります。

2 キャッシュレス決済の拡充

区はこれまで、区民税、軽自動車税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び介護保険料について、決済方法の拡大に取り組んできました。加えて、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、非接触による決済のニーズが増加し、キャッシュレス決済導入の必要性がますます高まっています。

令和4年度は、上記全ての公金に対し、スマートフォンアプリを利用したクレジットカード・電子マネー・インターネットバンキングによる決済を導入します。また、これまで異なっていた税や保険料の納付方法を統一することで、区民にとっての利便性や安全性、わかりやすさを向上させます。

＜利用できる事業提供者と上限額＞

支払方法	事業提供者	決済上限額
クレジットカード	VISA、Mastercard、JCB、アメリカン・エクスプレス、Diners	1件あたり30万円
電子マネー	PayPay、d払い、auPAY、LINEPay、J-CoinPay	
インターネットバンキング	1,100以上の金融機関	

※クレジットカードを利用する場合は、決済手数料がかかります。

## 情報セキュリティ対策の推進

22,240千円 ( 10,000 千円)

### 拡充 ▶ I T 推進課

これまでの情報セキュリティ対策の強化に伴い、事務効率の低下が顕在化していることから、事務の効率性・利便性とセキュリティ確保の両立をめざした「新たな自治体情報セキュリティ対策」を推進することが求められています。

令和5年1月から稼働予定の次期全庁LANは、インターネット環境を活用した新たなセキュリティ対策モデルを採用予定であることから、令和4年度は、組織的・人的セキュリティ対策を強化するため、情報セキュリティポリシーの改正や情報セキュリティに係る監査や研修、訓練体系等を抜本的に見直し、職員の情報リテラシーとモラルの向上を図ります。

拡充	デジタル化の推進に向けた調査 検討	134,095千円	( 127,015 千円)
新規	キャッシュレスの推進	12,536千円	( — 千円)
新規	職場環境改善・事務効率化の推 進	64,922千円	( — 千円)
新規	デジタルデバイド対策 ▶ I T 推進課	11,000千円	( — 千円)

区は、デジタル技術を活用することで、これまでのサービスや仕事の進め方そのものを変革し、区民生活をあらゆる面で豊かにする「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」に取り組んでおり、社会状況やデジタル技術の動向等を踏まえながら、誰もがデジタル化による利便性等の恩恵を受けられるよう、柔軟に各取組みを進めていきます。

## 1 デジタル化の推進に向けた調査検討

区におけるDXの将来像や方向性をまとめた「千代田区DX戦略」の進捗管理を適切に行うとともに、社会状況等も踏まえながら柔軟に取組みを進めていきます。

令和4年度は、区民等の利便性向上や行政運営の効率化を図るため、行政手続オンライン化に向けて、区独自ポータルサイトの構築を進めます。また、オンライン化のみを推進するのではなく、窓口で区民に書かせない取組みなど、来庁時における手続の負担を軽減するスピーディー・ワンストップなスマート窓口化を推進します。

## 2 キャッシュレスの推進

国のキャッシュレス決済推進に向けた取組みや新型コロナウイルス感染症対策などにより、社会全体としてキャッシュレス決済のニーズが高まっています。

このような背景を踏まえ、区においても区民の利便性向上等の観点から、手数料等を取り扱う全ての窓口におけるキャッシュレス決済を推進します。

令和4年度は、総合窓口課と出張所においてキャッシュレス決済に対応する端末を導入します。

### 3 職場環境改善・事務効率化の推進

質の高いサービスを継続的に提供していくため、DX推進を契機に、これまでの仕事の進め方や働く環境を見直すことで、職員の生産性を向上していきます。

令和4年度は、職員の活動に応じたワークスペースを適切に配置し、場所にとらわれない働き方や円滑なコミュニケーションを推進するオフィスレイアウトの実証実験を実施するとともに、ペーパーレス化に向けた検討などを行います。

### 4 デジタルデバイド対策

社会全体でデジタル化が進められる中、デジタルを苦手とする人をはじめ、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、区民ニーズを十分に把握しながら、デジタルデバイド（情報格差）を発生させないための取組みを行っていくことが重要です。

令和4年度は、区民のデジタル活用の実態とニーズをアンケート調査により深掘りし、様々な取組みを行っていきます。

---

## 総合計画の策定

**28,681**千円 ( — 千円)

新規

▶企画課

「千代田区第3次基本構想～千代田新世紀構想～」策定から約20年が経過し、新型コロナウイルス感染症等によって区を取り巻く状況は大きな転換期を迎えています。

こうした認識のもと、令和4年度は、社会経済情勢の変化等を踏まえ、区の新たな基本構想等を策定します。

策定にあたっては、区民や関係団体等の多様な主体から様々な意見を聴取し、検討を進めていきます。

---

